

令和3年度 日本行政書士会連合会 関東地方協議会連絡会 報告

日時 令和3年12月14日(火)
 講演会 午後3時～午後5時
 「内及び外から見た行政書士について」
 講師：茨城会名誉会長（東茨城郡大洗町長）
 國井 豊 氏
 懇親会 午後5時30分～午後7時
 令和3年12月15日(水)
 日行連との連絡会 午前10時～午前11時30分



日本行政書士会連合会 広報イラストレーター エキマツウチ

場所 ホテル日航つくば（つくば市吾妻1-1364-1）

出席者

日本行政書士会連合会	常住 豊	会長他2名	(3名)
栃木県行政書士会	安野 光宣	会長他6名	(7名)
埼玉県行政書士会	関口 隆夫	会長他4名	(5名)
群馬県行政書士会	秋山 賢治	会長他4名	(5名)
長野県行政書士会	山本 準一	会長他3名	(4名)
山梨県行政書士会	有賀 一雄	会長他1名	(2名)
静岡県行政書士会	平岡 康弘	会長他4名	(5名)
新潟県行政書士会	相羽 利子	会長他4名	(5名)
東京都行政書士会	宮本 重則	会長他4名	(5名)
神奈川県行政書士会	田後 隆二	会長他4名	(5名)
千葉県行政書士会	四本 平一	会長他4名	(5名)
茨城県行政書士会	古川 正美	会長他35名	(36名)

(出席者数) 87名

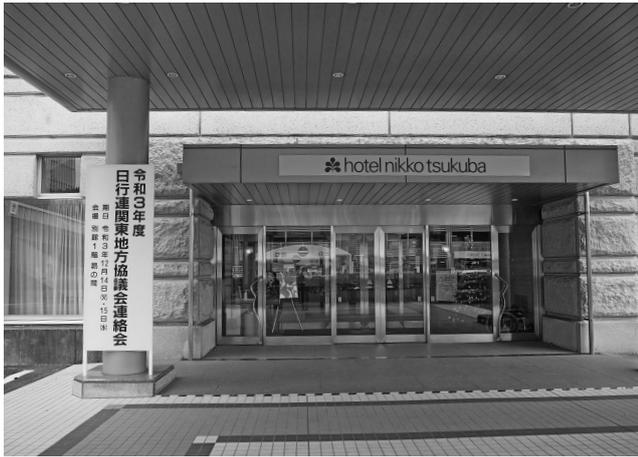
来賓 茨城県副知事 小野寺 俊 氏
 つくば市副市長 飯野 哲夫 氏
 茨城県行政書士会名誉会長（東茨城郡大洗町長） 國井 豊 氏



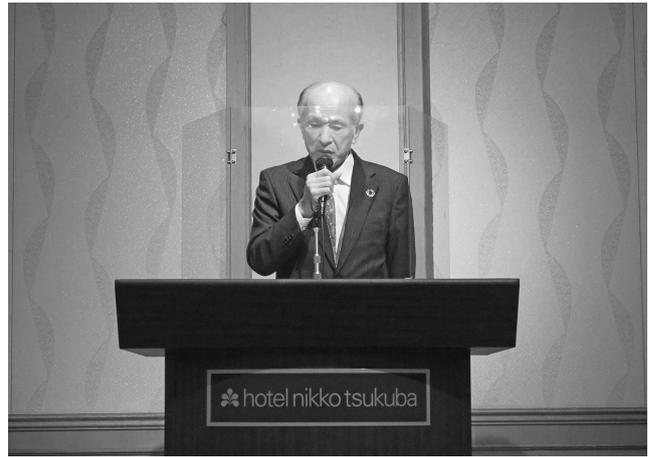
受付の様子



お出迎え



会場入口



開会式 飯野つくば副市長の挨拶

事業の内容

12月14日（火）、今年一番の寒波の中、折からの雨にもかかわらず大勢の皆様がお集まり下さり、会場は大変な熱気の中、定刻通り会議が開会いたしました。

1. 開会式

竹内崇茨城会副会長の司会進行により幕を開けました。

はじめに、関口隆夫関地協副会長（埼玉会会長）が開会の挨拶を行いました。

次に、古川正美関地協会会長（茨城会会長）が歓迎を込めて主催者としての挨拶を行いました。

続いて、飯野哲雄つくば市副市長が挨拶に立ち、つくば市の魅力を紹介するとともに、県行政面での行政書士に対する期待を表しました。

さらに、常住豊日行連会長が、制度70周年を昨年迎えた行政書士会の活動への益々の期待を込めて挨拶を行いました。

最後に、各单位会会長の紹介とともに、各会長からひとことが添えられました。



開会式 古川会長挨拶



開会式 常住会長挨拶

2. 講演会

当初予定されていた衆議院議員・前法務副大臣（茨城会会員）田所嘉徳氏による講演会「本格化するデジタル化時代 行政書士に期待される役割」及びパネルディスカッション「デジタル化時代における行政書士の役割」が、臨時国会開催による氏の欠席のためやむを得ず中止となりました。

この青天の霹靂ともいえるアクシデントにあって、國井豊茨城会名誉会長（東茨城郡大洗町長）のご快諾により、急遽テーマを「内及び外から見た行政書士について」に変更して、講演会が催されました。

國井氏の大洗町長としての経験も含めたユーモア溢れる講演により、会場は笑いあり、行政書士の社会的地位に関する真摯な激励あり、たいへんな盛会となりました。



懇親会の様子



懇親会 小野寺副知事



懇親会 常任会長挨拶



講演会での国井大洗町長

3. 懇親会

嶋田茨城会副会長の乾杯の音頭で幕を開けた懇親会には、公務多忙の中駆け付けて下さった小野寺俊茨城県副知事にも来賓としてご列席賜り、間中宏茨城会理事の名司会による進行により、終始和やかな雰囲気の中行われました。

4. 連絡会

12月15日、二日目の連絡会は10時から、竹内崇茨城会副会長の司会進行により始められました。議長には古川正美関地協会長（茨城会会長）が務めました。

(1) 日行連の当面の諸問題及び事情説明

はじめに、常住豊日行連会長から日行連の当面の課題及び事業について説明及び力強い提言が行われました。課題は令和3年度事業計画をはじめ、職務上請求書の適正な使用及び管理について、マイナンバーカード普及促進について、他、行政書士の地域性について、政策提案力について、2030年に向けた法改正への抱負についてなど、そして、行政書士を活用したデジタル化社会への実現への取り組みについて、力強い提言がなされました。

(2) 日行連に対する要望・意見等

次に、松村和人日行連副会長から、日行連への要望・意見に対する丁寧な説明が粛々に行われました。それに対し、群馬会・千葉会・栃木会はじめ各单位会から活発な再質問・再要望が寄せられ、松村副会長及び有賀部長から再説明がなされました。



日行連と関地協各会長間における連絡会の様子



連絡会 松村日行連副会長

5. 閉会式

古川正美関地協会長(茨城会会長)挨拶がなされました。

次年度当番会である安野光宣関地協副会長（栃木会会長）により閉会宣言及び次年度への抱負が語られ、盛会のうちに会議は幕を閉じました。

予定された議事が滞りなく終了し、12時に閉会しました。



常日日行連会長、松村日行連副会長と各单位会会長



次回担当单位会 安野栃木会会長のご挨拶

日行連と関東地方協議会との連絡会を終えて

副会長 竹内 崇

去る令和3年12月14日・15日、「日行連と関東地方協議会との連絡会」がホテル日航つくば（つくば市）で、小野寺茨城県副知事、飯野つくば市副市長を来賓にお迎えし、開催されました。

11都県の単位会で構成される関東地方協議会。毎年開催される連絡会の主催は、11単位会で持ち回り。つまり、11年に一度、主催単位会としての御役目が回って来ます。今年度は、我が茨城会がその大切な御役目を担うことになりました。

私自身、茨城会が主催した連絡会には、過去に二回、本会役員として携わった経験（開催地：北茨城市、大洗町）がありました。ただ、今回の連絡会は古川会長より、実行委員長の大役を仰せつかったこともあり、これまでとは違った緊張感の中で迎えることになりました。

「茨城県内のどこで開催するのか?」「コロナ禍で、どのように開催するのか?」「そもそも、コロナウィルスが感染拡大する中、開催して良いのか?」当初、実行委員長として苦悩することもありました。正副会長、事務局の皆さまから貴重なアドバイスをいただき、前例にとらわれることなく、コロナ禍の厳しい環境下において如何に最大限の成果を上げられるかを自問自答しながら準備を進めてまいりました。

交通アクセスの良さ等を重視した初の県南地区（つくば市）での開催、コロナ感染拡大防止のため出席者数の削減（総勢88名）、時間短縮のため分科会の廃止等々、正に前例のない手法を取り入れての開催となりましたが、多くの皆さまのご支援を賜り、二日間の連絡会を成功裏に終えることができました。そして、今後の「日行連と関東地方協議会との連絡会」の開催方法にも一石を投じられたと思います。

最後になりますが、当日、素晴らしい講演をしてくださった國井大洗町長（茨城会名誉会長）、素晴らしい設営をしてくださったホテル日航つくばスタッフの皆さま、何より準備段階からご尽力いただいた畑岡局長を始めとする茨城会事務局の皆さまに厚く感謝御礼申し上げます。



茨城会の皆様、おつかれ様でした！